



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 2 年 3 月 31 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 竜之口学区防災マップ作成実行委員会

所在地

連絡先

代表者役職・フリガナ氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	竜之口学区防災マップ作成実行委員会
事業実施区域 (小学校区)	竜之口学区
①事業実施内容	※実施事業の概要(200字程度)をご記入ください。 ※事業実績を示す写真(事業内容ごとに2枚程度)、作成した報告書やチラシ等を添付してください。 アンケート等を行った場合は、集計結果を添付してください。また、新聞等で取り上げられた場合は、その写しを添付してください。 1. 岡山市が新たに発行するハザードマップを活用した防災マップの作成 2. 一昨年の西日本豪雨の冠水場所等を再確認する。 3. 避難経路の確認 4. 各町内会の避難場所の確認及び呼び名の統一 5. 携帯型防災(避難)マップを作成 6. 避難情報を記載 7. 連合町内会を通して学区民へ防災マップの進捗状況を連絡。 8. 学区全戸へ配布、小学生全員にカバンの中に入れ持たせる。 9. 学区コミュニティハウスの活動の中で機会ある事に机上訓練を実施。
②解決を目指した課題	平成30年度で作成した防災マップの見直し、及び避難経路を明示 1. 災害時の対策マニュアルや避難マニュアルがない。 2. 町内会により避難場所、避難経路が徹底されていない。 3. 各町内会の平常時の避難訓練の実施、学区全体の避難訓練の実施が毎年必要。 4. 要支援者の把握が出来ていない、また支援体制も出来ていない。

③ 目的・目標の達成状況	ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況 イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こりにより明らかになった課題等 ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等 エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況 オ その他⇒定めた目標の達成状況 など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。 1. 避難経路の明示は各町内会の委員が西日本豪雨の事も有り情報の収集に努めた。夜間に冠水があった場所は関係する住民は全てを把握できていないため、岡山市消防財田分団が巡回した時の状況を習得した。 2. 防災の関心の高まりを改めて確認できた。 各町内会の委員が積極的に危険場所、避難経路の確認し、資料の提出があった。また、実行委員会は6回開催し情報等の落ちが無いよう、見直しに努めた。昨年の防災訓練の参加者以外に新たな参加者があった。 3. だれが見ても避難経路が判るマップができた。 コンパクトのため持ち歩きでき、マップを広げてみやすい、反省会等の意見から総合的に反響がよかった。 4. 防災に関する諸会議を通し学区の課題、問題点等の確認ができた。 各町内会の防災訓練の連絡方法、避難場所、避難経路、役割分担等 5. 普段から防災マップの活用を行い、学区民の防災意識の高揚図り、いざの時に一人の犠牲者もでない学区として安心・安全な町づくりに取り組みます。 防災訓練に初めて要支援者の避難訓練が初めて行われた、また、小学校へマップ600枚を配り、子どもへ全員配布し、カバンへ収納して、子ども達へ災害時の避難を平常時から活用を呼び掛ける。 6. 岡山市が計画している最新のハザードマップを活用し作成を試みていたが、配付が遅れ活用が出来なかった。 7. 計画案に沿った会議等実施、1月末の完成、2月初め学区民へ配布できた。 学区全戸へ配布、また関係する事業所、公共施設へ配布。 小学生全員へ配布。
---------------------	--

④企画等の工夫と情報公開	※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。 1. 持ち歩き可能なマップを作成 2. 防雨対策 3. 小学校教育徒へ配布 4. 近隣の企業、公共施設等へ配布 5. 各町内会から実行委員会へ2名以上の参加があり、実行委員会の情報を持ち帰り各町内会の意見、情報を取り入れた。 6. 避難を重点に作成
⑤次年度計画	※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。 学区の負担が多額なため協議中です。

※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。

1. 防災訓練（避難訓練）は防災避難マップを活用し実施、約 350 名の参加がありました、又、自主的な参加者もあり防災意識が高まったと思います。
2. 学区民から大変判りやすい防災マップが出来たと喜んで頂きました。実行委員の皆さんが真剣に取り組んだ成果と思います。
3. マップを作成中にも新しい道路、開発の場所もあり、反映が大変でした。
4. 反省会の意見、提案等を今後に反映します。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

1. 学区各団体、町内会が実行委員として参加しており、とても良いと思います。
●学区の各種団体、各町内会へ呼びかけ委員を選出しました。
2. 昨年の豪雨の経験と地区の防災の現状の省察からいち早く体制が整備され、具体的事業に着手されているのは素晴らしいと思います。
●西日本豪雨の冠水場所、危険場所等を再確認し、委員全員が再認識した。
3. 携帯型の防災マップが実用的で使いやすいと思います。
●持ち歩きができる携帯型、防雨対策を行い雨天時にも活用できる企画へ挑戦。
4. マップは、町内会へ入っていないお宅へも全戸配布して頂きたいと思います。
●全戸へ配布、また、小学生全員に持たせた。
5. 申請団体名がマップ作成実行委員会となっているが、活動の目的はマップの作成ではなくて、全住民が安全に逃げられることだと思います。それを念頭において取り組めば、結果としてより良いマップが作成されると思います。
●各町内会の避難経路が徹底されてなかったため通学路を主にマップへ明記。
特に高齢者への避難情報のレベル情報を記載した。

右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。

(理由:)

助言等の内容について、改善ができましたか。

- Ⅰ できた
- ⑩ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
竜之口学区連合町内会	各町内会へ応援要請
竜之口学区コミュニティ協議会	パソコンによる防災マップ作成支援
地区社会福祉協議会	委員(会計)
岡山市立竜之口小学校	避難所
岡山市立竜之口幼稚園	避難所
前土田町内会	避難場所、危険箇所等の確認
土田町内会	避難場所、危険箇所等の確認
東四御神町内会	避難場所、危険箇所等の確認
四御神町内会	避難場所、危険箇所等の確認
西四御神町内会	避難場所、危険箇所等の確認
四御神町内会	避難場所、危険箇所等の確認
中四御神町内会	避難場所、危険箇所等の確認
南四御神町内会	避難場所、危険箇所等の確認
芙蓉町内会	避難場所、危険箇所等の確認
横縄手町内会	避難場所、危険箇所等の確認
東雄町町内会	避難場所、危険箇所等の確認
学区婦人会	委員
学区栄養改善協議会	委員
学区体育協会	委員
岡山市消防財田分団	西日本豪雨の冠水場所情報収集
四御神郵便局	委員
竜操中学校	委員

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

月 日	項 目	詳 細
7月26日	学区連合町内会幹事会	コミュニティハウス 各町内会長 議題 1. 竜之口学区防災マップ作成更新について 2. 各町内会選出の防災マップ委員の確認 3. 令和元年度岡山市区づくり推進事業助成申込み内容説明 4. 竜之口学区防災マップ更新についての主な作業を説明 5. 日程説明
9月21日	第1回実行委員会	コミュニティハウス 実行委員会委員 議題 1. 竜之口学区防災マップ作成更新について 2. 各町内会選出の防災マップ委員の確認 3. 令和元年度岡山市区づくり推進事業助成申込み及び事業決定について 4. 竜之口学区防災マップ更新についての主な作業（案） 5. 日程について
10月14日	第2回実行委員会	コミュニティハウス 実行委員会委員 議題 1. 各町内会の危険個所・施設等の調査内容を報告 2. 更新する避難マップの内容検討 3. 防災マニュアル（案）
11月9日	第3回実行委員会	コミュニティハウス 実行委員会担当者 議題 1. 各町内会の危険個所・施設等の調査内容を報告 2. 更新する避難マップの内容検討 1) 各町内会の主避難経路の確認 2) 各町内会の危険場所等の確認 3) 昨年の西日本豪雨時の冠水等の確認 4) 凡例の見直し
11月30日	第4回実行委員会	コミュニティハウス 実行委員会担当者 議題 1. 各町内会の危険個所・施設等の調査内容最終確認 2. 更新する避難マップの内容検討 1) 各町内会の主避難経路の確認 2) 各町内会の危険場所等の確認 3) 昨年の西日本豪雨時の冠水等の確認 4) 凡例の確認 5) 表紙の見直し 6) 北、南の表紙を統一

⑧事業実施経過

月 日	項 目	詳 細
12月21日	第5回実行委員会	コミュニティハウス 実行委員会担当者 議題 防災（避難）マップの内容確認 1)各町内会の主避難経路の確認 2)各町内会の危険場所等の確認 3)昨年の西日本豪雨時の冠水等の確認 4)凡例の確認 5)表紙の一部見直し 6)北、南の表紙を統一
1月14日	第6回実行委員会	コミュニティハウス 実行委員会委員 議題 1.防災（避難）マップの校正の確認 1)各町内会の主避難経路の確認 2)各町内会の危険場所等の確認 3)昨年の西日本豪雨時の冠水等の確認 4)凡例の確認 5)表紙の一部見直し 6)北、南の表紙を統一
2月1日	委員会	コミュニティハウス 実行委員会担当者 各町内会へマップを配布
3月8日	反省会	コミュニティハウス 実行委員会委員 防災訓練を実施 避難訓練へ活用

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
岡山市補助金	112,000	112,000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	112,000	113,500	
参加者負担金			
協賛金			
寄付、他収入			
計	224,000	225,500	

◆ 支 出

単位:円

費 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	10,000	0	
②食糧費	8,000	0	
③印刷製本費	206,000	225,500	印刷代181,500、会費用コピー44,000
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費			
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料			
⑮旅費			
⑯その他			
計	224,000	225,500	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。